

1. 略歴

1978年3月	青山学院大学文学部フランス文学科卒業
1994年4月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期入学
1996年3月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期修了（教育学修士）
1996年4月	愛媛大学教育学部、松山東雲女子大学人文学部非常勤講師
1998年4月	松山東雲女子大学人文学部専任講師
2000年4月	松山東雲女子大学人文学部助教授
2003年10月	愛媛大学留学生センター助教授
2011年9月	東京大学日本語教育センター教授
2014年7月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本語教育

b 研究課題

- 1) アカデミックな日本語の教育方法および教材の開発
- 2) 大学および地域における日本語教育・支援の体制づくりのための調査・研究
- 3) 日本語非母語話者の学習ニーズの多様化に対応しうる漢字教育のための調査・研究

c 概要と自己評価

教育面では、2016年度に日本語教室における科目の内容・配置を見直し、以前より強い要望のあった古典関係科目の常設を実現した。また、集中講座・特別講座の充実化を図る中で、他部局との連携、大学院生の起用などを進め、留学生の多様なニーズへの対応や、日本人との接触機会の増加に努めた。ハード面の改革としては、視聴覚教育センターの協力を得て教室のIT化に向けた環境整備を行い、効率的な授業展開ができるようにした。運営面では、2016年12月に、留学生の教育・支援を考えるために、教職員、留学生、日本人学生、総勢14名が一堂に会する座談会を開催し、その記録を日本語教室開室25周年記念のための『東京大学大学院人文社会系研究科・文学部国際交流室・日本語教室記念誌』にまとめた。さらに、座談会で提起された課題を解決すべく、留学生のための対人関係構築講座や、教員間・チューター間の情報交換促進に向けた懇談会を実施した。研究面では、アカデミック・ライティング教育のための調査・研究を積極的に進めているが、2017年度の研究会での受賞をきっかけとして、研究に拍車がかかっている。以前より継続中の「定住外国人のリテラシー」の調査・実践については、国外のJournalに成果が掲載され、新たな展開に移行しつつある。

d 主要業績

(1) 論文・研究ノート

向井留実子・新矢麻紀子・高橋志野、「国際結婚移住女性の書字言語習得支援に関する一考察—ソーシャル・サポートという視点から—」、『Journal Cajle』、Vol.17、44-62頁、2016.8

向井留実子・中村かおり・近藤裕子、「引用で求められる「解釈」をどのように指導するか—学習者の作文事例から見た引用・解釈文作成の困難点と指導のあり方—」、『専門日本語教育研究』、2017.12

向井留実子、「日本語で学位取得を目指す大学院留学生への指導・支援の課題—東京大学大学院人文社会系研究科・文学部における実践を通して—」、『文化交流研究』、31号、49-62頁、2018.3

(2) 学会発表

国際、中村かおり・近藤裕子・向井留実子、「アカデミックライティングにおける不適切な引用文の分析と課題」、日本語教育国際研究大会、2016.9.10

国内、近藤裕子・中村かおり・向井留実子、「アカデミック・ライティングにおける引用指導の課題—教材分析を通して—」、日本語教育方法研究会、2016.9.24

国内、中村かおり・近藤裕子・向井留実子、「大学初年次のレポート作成指導で引用をどう扱うか」、日本語教育方法研究会、2017.3.18

国内、近藤裕子・中村かおり・向井留実子、「大学初年次のアカデミック・ライティング指導に向けたレディネス調査」、日本語教育方法研究会、2017.9.16

国内、中村かおり・近藤裕子・向井留実子、「アカデミック・ライティングにおける論証技術的習得の課題」、日本語教育学会秋季大会、2017.11.26

国内、中村かおり・近藤裕子・向井留実子、「アカデミック・ライティングにおける論証技術習得を目指した指導の実践—文レベルでの論理的つながりの意識化と明文化を中心に—」、日本語教育方法研究会、2018.3.24

(3) 会議主催(チェア他)

国内、「第2回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2016.1.27

国内、「第3回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2016.3.14

国内、「第4回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2017.2.6

国内、「第5回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2017.3.23

国内、「第6回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2018.2.17

国内、「第7回 東京大学文学部日本語教育研究会」、主催、2018.3.10

(4) 受賞

国内、向井留実子、奨励賞、日本語教育方法研究会、2017.3.18

(5) 共同研究(産学連携除く)

国内、参画、大阪産業大学、「移住女性のリテラシー保障に向けた学習支援体制と地域コミュニティの構築に関する研究」、2016～

(6) 授業開発・教育プログラム

「何気ない日本人の習慣・考え方を学ぼう」、向井留実子、2016

「落語を体験しよう」、向井留実子、2016

「留学生のための日本史」、向井留実子、2017

「留学生のための豊かな留学生活の過ごし方」、向井留実子、2017

「江戸時代の芸能を学ぼう」、向井留実子、2017

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本語教育学会、一般会員

専門日本語教育学会、一般会員

日本語教育方法研究会、運営委員

大学教育学会、一般会員、2018.2～